

宇土市次世代育成支援行動計画(後期)の推進状況 (平成23年度)

基本理念 ～宇土っ子のゆたかな心と元気な体を育む～

基本目標-1 親を支える ～子育て支援サービスで親を支えるために

施策1 地域における子育て支援

(1) 保育サービスの充実 (計画 P22～27)

※番号の網掛けは、特定12事業

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取り組みなど	担当課
1	通常保育事業	通常の保育時間において、保育園等で保育を行う事業。	年度平均在園児童数	1,211人	1,223人	1,255人	1,269人	年々在園児童数が増加しており、保育所の定員増及び新設等の要否を検討する。	子育て支援課
2	延長保育事業	保育園で、通常の保育時間の11時間を超えて保育を行う事業。	実施箇所数	12園	12園	13園	継続実施 (13園)	保護者の仕事と育児の両立を支援し、安心して子育てができる環境をつくる観点からも、継続して実施していく。	子育て支援課
3	夜間保育事業	保護者の仕事等の都合により、夜間、家庭で児童の保育ができない場合に、保育園等で保育を行う事業。	実施箇所数	0園	0園	1園	継続実施 (1園)	平成22年度までは、認可外保育園(肥後っこ保育園)で実施。当該園がH23年度から夜間の認可園として実施している。安心して子育てができる環境をつくる観点からも、国の補助事業を活用しながら継続して実施していく。	子育て支援課
4	一時預かり(一時保育)事業	保護者が仕事等で一時的に家庭での児童の保育が困難になった場合に、保育園その他の場所で一時的に預かる事業。	実施箇所数	8園	8園	6園	9園	多くの保育所が自主事業として実施しており、今後はニーズの把握等に努める必要がある。	子育て支援課
5	休日保育事業	保護者の仕事等の都合により、休日に家庭で児童の保育ができない場合に、保育園等で保育を行う事業	実施箇所数 登録人数	1園 20人	1園 29人	1園 30人	2園 40人	現在は宇土エンゼル保育園で実施。今後もニーズの把握等に努める必要がある。	子育て支援課
6	特定保育事業	保護者のパートタイム勤務等により、家庭での保育が困難な児童を、1ヶ月に概ね64時間以上預かり保育する事業	実施箇所数	0園	0園	0園	1園	安心して子育てができる環境をつくる観点からも、ニーズの把握等に努め、検討を行っていく。	子育て支援課
7	障がい児保育事業	心身に障がいを有する児童を保育園において保育する事業。	受入可能箇所数 実施箇所数	12園 7園	12園 9園	13園 10園	13園 —	保育士加配における市の補助等を通じ、すべての保育園で受け入れ可能な体制を維持する。	子育て支援課

(1) 保育サービスの充実 (計画 P22～27)

※番号の網掛けは、特定12事業

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
8	幼稚園預かり 保育事業	幼稚園で通常の就 園時間を延長して 預かる事業。	—	—	検討	検討	方針に基づ いた取組	幼稚園預かりにおける親 のニーズと、延長した場合 の予算、人員、勤務体制 などを含めた調査、検討 を行っており、今後につい ては、方針の策定、方針 に基づいた取組を行って いく。	学校教育課
9	放課後児童ク ラブ（放課後 児童健全育成 事業）	保護者が仕事等で 昼間家にいない場 合などに、放課後、 小学1年生から3年 生まで（原則）の児 童を預かり、子ども たちが安心して過 ごせる場所を提供 する事業。	実施個所数 年度平均利 用児童数	9箇所 443人	10箇所 436人	10箇所 458人	11箇所 565人	平成24年度から、花園 地区の施設不足に対応す るため、花っ子児童クラブ を開設する。（10箇所→11 箇所） 今後も、児童の健全育 成と事故防止の観点か ら、放課後児童クラブの充 実を図る。	子育て支援課

(2) 多様な子育て支援サービス (計画 P28～33)

※番号の網掛けは、特定12事業

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
10	ファミリーサ ポートセンター 事業	育児の援助を行 いたい者（協力会員） と援助を受けたい 者（依頼会員）か らなる会員組織で、 依頼会員からの依 頼に応じ協力会員 を紹介し、地域にお ける会員同士の相 互援助活動を支援 する事業。	実施個所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	平成23年度につい ては、協力会員養成講座を 2回、会員交流会を1回開 催した。 今後も質の高いサー ビス提供のために、協力会 員の育成、広報活動等に 取り組む。	子育て支援課
11	ショートステイ事 業（子育て短期支 援事業）	保護者の疾病、疲 労やその他の理由 により児童を一時的 に児童養護施設 等で養育保護を行 う事業。	実施個所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	平成22、23年度の利用は なかったが、安心して子育 てができるようきめ細やか な環境を整備する上で、 事業の継続、周知活動を行 っていく。	子育て支援課
12	トワイライトステイ事 業（子育て短期 支援事業）	保護者が仕事その 他の理由により平 日の夜間や休日に 児童を養育するこ とが困難になった 場合、児童養護施 設等において必要 な養育保護を行う 事業。	実施個所数	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	平成22、23年度の利用は なかったが、安心して子育 てができるようきめ細やか な環境を整備する上で、 事業の継続、周知活動を行 っていく。	子育て支援課

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
13	病児・病後児保育事業	児童が病氣中、または病氣回復期にあり、集団保育の困難な期間、病院・保育園等においてその児童の一時預かりを行う事業。	実施箇所数	1箇所	1箇所	1箇所	2箇所	現在、市内の医療機関と連携し、宇土郡市医師会館において事業を行っている。 登録者数、利用者数ともに増加しており、今後も事業の継続、内容の検討を行いながら、安心して子育てができる環境を整備する。	子育て支援課
14	地域子育て支援拠点事業	親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場で、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う事業。	実施箇所数	4箇所	4箇所	4箇所	4箇所	今後も事業を継続し、地域の支え合いや親子同士の相互交流による支え合いによる地域の子育て力が向上するよう取り組む。	子育て支援課
15	乳児家庭全戸訪問事業	生後4ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、育児の不安や悩みを聞いて必要な支援に結びつける事業。	—	—	検討	検討	実施	平成25年度から事業開始予定。	子育て支援課 健康づくり課
16	養育支援訪問事業	乳児家庭全戸訪問などにより、強い育児不安を抱える家庭や児童虐待のおそれがある家庭を把握した場合に、保健師等による養育の指導、助言を行う事業。	—	—	検討	検討	実施	平成26年度から事業開始予定。	子育て支援課 健康づくり課

(3) 経済的支援 (計画 P34~35)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
17	乳幼児医療費・こども医療費助成事業	乳幼児医療…小学校就学前までの児童を対象に、医療費の一部負担金について、県の一部助成と併せて全額を助成する事業。 こども医療…小学校1年生から3年生までの児童を対象に、医療費の一部負担金について、本人負担分を控除した額を助成する事業。	—	実施	実施	実施	継続実施	平成23年度に、こども医療費における現物給付の範囲を拡大し、より保護者に利用しやすい環境の整備を行った。 今後も継続して事業を実施していくとともに、こども医療費助成の対象範囲の拡大についてもニーズを踏まえ検討を行っている。	子育て支援課
18	保育園の保育料減免制度	疾病や失業等により経済的に困窮している世帯について保育料の減免を行う制度。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施する。	子育て支援課

(3) 経済的支援 (計画 P34~35)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
19	幼稚園就園奨励事業	幼稚園へ通園する園児の保護者の経済的負担軽減と公私立幼稚園間の世帯の負担の格差を是正することを目的とした補助金制度。	対象人数	—	10人	33人	—	補助金であるため、対象人数の目標値は未設定。今後も継続して保護者等への制度周知を行っていく。	学校教育課
20	就学援助制度	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品費等、修学旅行費、給食費、医療費等の一部を援助する制度。	認定者数	409人	419人	488人	—	補助金であるため、認定者数の目標値は未設定。今後も継続して保護者等への制度周知を行っていく。	学校教育課
21	新生児出生時市指定ごみ袋支給事業	新生児の養育者に、市指定のごみ袋を支給する事業。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施する。	子育て支援課

(4) 子育て支援のネットワークづくり (計画 P35)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
22	子育て関係情報のデータベース化	子育てに関する情報や相談援助が適切に受けられる環境を整備するため、成育歴、予防接種歴、乳幼児健診歴等のデータベース化を行い、行政サービスの充実を図る。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施する。	健康づくり課

(5) 子育て支援サービスに関する情報提供 (計画 P36)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
23	広報紙・ホームページの活用	子育て支援に関する情報を、広報紙・ホームページ等で広く周知する。	—	実施	実施	実施	継続実施	平成23年度にホームページ内に子育て支援に関する情報を集約して掲載している。 今後も、子育てに関するイベントや、サービスの情報を随時更新する。	子育て支援課
24		健診等に関する情報を、広報・ホームページにより、情報提供を行う。また住民からの意見聴取を行う。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施し、情報の周知を図る。	健康づくり課
25		幼稚園就園奨励事業、就学援助制度等について掲載する。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施し、制度の周知を図る。	学校教育課
26		市の情報をわかりやすく効果的に発信する事業。	ホームページへのアクセス件数	237,761件	330,383件	449,445件	500,000件	平成24年から、市のFacebookを開設することで、これまで以上の積極的な情報発信を行う。	企画課
27	案内パンフレット・冊子の作成	子育て支援サービスに関する情報を掲載したガイドブック、保育情報を掲載したパンフレットを配布する。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も、子育てに関する情報を掲載した冊子を発行し、窓口で交付することで、情報の積極的な提供を行う。	子育て支援課
28		子育て支援に関する情報を掲載した子育てガイドブックを、母子手帳発行時・転入時・出生時、及び希望者に配布する。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も、保健センター案内のチラシを、母子手帳発行時および転入時に配布する。	健康づくり課

(6) 子育ての楽しさの啓発 (計画 P37)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
29	親子で読書に親しむ環境づくり	①乳児の3ヶ月健診時に、保健センターで絵本を手渡し、読み聞かせやおすすめ絵本の紹介を行う。 ②親子を対象として、児童室でボランティアの協力を得て読み聞かせ会を実施する。	①年間開催数 ②参加者数	① 12回 ② 888人	① 12回 ② 1,202人	① 12回 ② 1,254人	① 12回 ② 1,400人	①については、今後も継続して実施する。 ②については、ボランティア養成講座を実施し、ボランティアの確保と内容の充実を図る。	図書館
30	思春期教室の開催(乳児とのふれあい体験)	高校生と乳児とのふれあい体験を通し、「生命の尊さ・重さ」を学ぶと同時に、母性・父性を養う機会とする。	思春期学級参加者数	未実施(新型インフルエンザ流行のため)	282人	236人	250人	今後も継続して実施する。	健康づくり課

施策2 援助の必要な家庭への支援

(1) ひとり親家庭への支援 (計画 P40~41)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
31	ひとり親家庭児童の保育園への優先入園措置	保護者の就労を支援するため、保育所入所決定について配慮を行う。		実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施する。	子育て支援課
32	ひとり親家庭等日常生活支援事業	生活環境の劇的な変化により、一時的に介護や保育のサービスが必要な場合に家庭生活員を派遣する事業。	利用人数 利用延日数	10人 182日	6人 176日	4人 111日	継続実施	ひとり親家庭における日常生活負担軽減のため、継続して事業を行っている。	子育て支援課
33	母子家庭高等職業訓練促進事業	資格の取得を促進し、就職につなげて生活の安定を図るため、訓練促進費及び入学支援修了一時金を支給する事業。	利用人数	0人	1人	5人	継続実施	母子家庭の母親が、取得した資格、技能を活かし就業することで、経済的に自立した生活を促すため、継続して事業を行っている。	子育て支援課
34	母子家庭自立支援教育訓練給付事業	自立の促進及び生活の安定を図るため、職業の能力開発のための受講経費の一部を支給する事業。	利用人数	0人	0人	0人	継続実施	母子家庭の母親が、取得した資格、技能を活かし就業することで、経済的に自立した生活を促すため、継続して事業を行っている。	子育て支援課
35	ひとり親家庭新入学児お祝い事業	ひとり親家庭の児童が小学校に入学する際にお祝い金を支給する事業。	実施対象者	36人	44人	44人	継続実施	ひとり親家庭における日常生活負担軽減のため、継続して事業を行っている。	子育て支援課
36	婦人相談員兼母子自立支援員による相談事業	就業等に関する相談及び情報提供を行う事業。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施する。	子育て支援課

(2) 障がいのある子どもへの支援 (計画 P42)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
37	障がい福祉サービス等の情報提供	宇土市HPの掲載・宇城圏域の福祉マップ作製・障がい福祉サービスのパンフレット配布等を行う。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施するとともに、障害者自立支援法から障害者総合支援法への制度の変更についても積極的に情報提供を行っていく。	福祉課
38	5歳児すこやか健診	3歳児健診以降の健診・相談の場を設けるとともに、健診後に保育園・幼稚園訪問を行い、保護者・園・保健センターをはじめとした対象児をとりまく関係者間での情報共有を行いながら、発達障害などの特性を持つ児の成長を支援する。	5歳児すこやか健診受診率	90.8(%)	93.2(%)	96.0(%)	100(%)	健診後フォローの園訪問を、宇城地域療育センター療育相談員へ依頼し、地域療育と保育園・幼稚園との関係づくりを進めている。 今後は、保護者の思いに沿った支援を行えるよう、早期から対象児と保護者に積極的に関わるよう体制の見直しを行っていく。	健康づくり課
39	就学指導委員会	心身に障害のある児童及び生徒に対し適正な就学指導を行う。	指導件数	41件	48件	41件	—	今後も継続して実施する。	学校教育課
40	特別支援教育事業	障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うための事業。	事業対象校数	12校	12校	12校	12校	市単独財源のほかに、緊急雇用創出事業を活用し、非常勤講師を配置している。今後はニーズ等を踏まえ、講師の加配等を検討していく。	学校教育課

(3) 子どもを虐待から守るための取組み (計画 P43)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
41	要保護児童対策及びDV対策地域協議会の充実	福祉、保健、医療、教育、警察などの関係者で組織し、必要に応じてケース会議を開き児童虐待防止や保護に対応する。	個別ケース検討会議開催回数 ケース実件数	7回 5件	7回 4件	14回 10件	継続実施	会議記録の整理、整備を実施し、関係機関との連携強化を図っていく。	子育て支援課及び関係課
42	家庭相談員の配置	週3日(月・火・木)児童や家庭に関する相談を受ける事業。	相談者延人数(児童・家庭)	20人	15人	15人	継続実施	今後も継続して実施する。	子育て支援課
43	育児相談、訪問支援	妊婦健診・乳幼児健診・家庭訪問・健康相談等により、早期に不安や悩みを把握し、解決を図る。	家庭訪問件数	55回	55回	91回	—	今後もあらゆる機会をとらえ、出産や育児への不安を引き出せるよう関係づくりに努める。	健康づくり課
44	広報紙等による啓発	児童虐待防止月間等に併せて広報紙やポスターなどで啓発を行う。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施する。	子育て支援課

基本目標-2 子どもの成長 ～子どもがすくすくと育つことができるために～

施策1 安心して子どもを産み育てることができる支援体制の整備

(1) 妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と支援 (計画 P46)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
45	妊婦健診・乳児健診の充実	妊婦健康診査助成を実施し、妊娠期の母子の健康管理を支援する。 また乳幼児健康診査(3か月児・6か月児・1歳6か月児・3歳児)を実施し、疾病の早期発見・早期治療につなげ、育児相談の場とする。	・妊婦健康診査受診票交付者数 ・3か月児健康診査受診率 ・6か月児健康診査受診率 ・1歳6か月児健康診査受診率 ・3歳児健康診査受診率	378(人) 99.4(%) 95.8(%) 95.6(%) 95.3(%)	384(人) 99.7(%) 97.2(%) 98.7(%) 93.4(%)	344(人) 98.5(%) 97.2(%) 98.6(%) 98.7(%)	350(人) 100(%) 100(%) 100(%) 100(%)	妊婦健康診査助成については、今後も市の母子保健事業のサービス低下が起きないように、継続して実施していく。 乳幼児健康診査においても、受診率の向上に向け、継続して実施していく。	健康づくり課
46	健康教育の充実	乳幼児健診等において体験型健康教育を多く取り入れ、交流の場や機会を提供することで仲間づくりにつなげる。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施していく。	健康づくり課
47	情報提供・知識の普及	妊娠・育児・不妊に関する種々の母子保健情報を収集・提供する。	—	実施	実施	実施	継続実施	平成24年度から、新たに特定不妊治療費助成事業を開始しており、事業の周知、情報提供を積極的に行っていく。	健康づくり課

(2) 育児不安の軽減と子どもの心の安らかな発達の促進 (計画 P47～48)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
48	産後ママサポート事業	母親が産後の体調不良等のため家事や育児を行うことが困難な家庭に産後支援ヘルパーを派遣し、母親の負担軽減を図る事業。	利用延人数	0人	3人	0人	継続実施	今後も継続して実施していくとともに、制度の積極的な周知を図っていく。	子育て支援課

(3) 保健サービスを充実させるための体制の確保 (計画 P48～49)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
49	研修参加等による関係職員の資質向上	関係スタッフの資質向上のため、研修等へ参加する。	研修会参加回数	—	母子保健 17(回) 栄養改善 17(回) 予防接種 3(回)	母子保健 18(回) 栄養改善 11(回) 予防接種 3(回)	—	今後も継続して業務に必要な研修会へ参加し、スタッフの質の向上を目指す。	健康づくり課
50	療育体制の整備と保護者支援の強化	運動発達・言葉の発達などの発達相談や療育相談について、宇城地域療育センター等の相談支援の機関の周知を行う。また、発達障がいに関する専門相談機会として、心理士による個別相談を週1回実施。	5歳児健診後フォロー ・心理相談実施回数 ・園訪問回数	・41(回) ・22(回)	・50(回) ・18(回)	・75(回) ・19(回)	—	今後も療育センターや保育園、幼稚園、教育委員会等各関係機関との連携強化を図り、継続して実施する。	健康づくり課
51	予防接種をはじめ各種情報の普及啓発	感染症予防のために、集団接種と個別接種を無料で実施する。また、乳幼児健診や相談の機会を利用し、接種時期や接種漏れがないよう指導を行う。	予防接種率 ・ポリオ ・BCG ・三種混合 ・二種混合(DT) ・二種混合(麻疹風疹) I期 II期 ・日本脳炎 幼児 学童	・95.1(%) ・97.3(%) ・88.0(%) ・100(%) ・93.7(%) ・55.9(%) — —	・88.3(%) ・97.7(%) ・90.5(%) ・90.5(%) ・100(%) ・97.1(%) ・61.6(%) :※1 —	・92.0(%) ・97.2(%) ・91.3(%) ・91.3(%) ・100(%) ・100(%) ・94.9(%) ・78.8(%) ※1 —	・100(%) ・100(%) ・100(%) ・100(%) ・100(%) ・100(%) — —	今後も、健診や健康相談等の機会を利用し、未接種者に対する接種勧奨を継続する。 (※1)日本脳炎予防接種に関しては、平成22年8月22日及び平成23年5月20日に法改正があり、特例措置が行われることになった。接種積極的勧奨の差し控え(平成17～21年度)と、その間に接種機会を逃した方の接種について 広報や個人通知等で接種勧奨を再開している。	健康づくり課

施策2 子どもの健やかな成長のための教育環境づくり

(1) 学校教育の充実 (計画 P51～52)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
52	国際交流事業	幼稚園、小・中学校における外国語指導助手による英語指導。	外国語指導助手人数	5人	5人	5人	5人	今後も継続して実施していく。	学校教育課
53	情報教育の環境整備	小・中学校のパソコン室や校務用パソコン等の環境整備を行うとともに、支援員を各学校に派遣する。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施していく。	学校教育課
54	学校評議員制度	学校長の行う学校運営について幅広く地域の意見を反映して、学校づくりを進めていくため、評議員一人一人の責任において、意見を述べ、助言を行う制度。	評議員数	学校運営協議会を設置している網田小中除く、各幼稚園、学校に3人配置	学校運営協議会を設置している網田小中除く、各幼稚園、学校に3人配置	学校運営協議会を設置している網田小中及び走潟小を除く、各幼稚園、学校に3人配置	学校運営協議会を設置している網田小中及び走潟小を除く、各幼稚園、学校に3人配置	今後も継続して実施していく。	学校教育課
55	小中一貫教育	網田小・中学校が平成17年度～平成22年度まで、文部科学省の指定を受け、小中一貫教育の実践を行った。	—	実施	実施	実施 (小中連携)	継続実施 (小中連携)	平成23年度から、小中一貫教育の実践を踏まえた上で、小・中学校の教育目標やカリキュラムの共通部分について協働して設定する「小中連携」に取り組んでおり、今後も継続して実施していく。	学校教育課

(2) 幼児教育の充実 (計画 P54)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
56	幼・保・小・中連携事業	幼稚園・保育園から中学校まで見通した発達段階を踏まえた計画的な支援の在り方など各中学校区の支援体制の充実を図る。	—	検討	検討	実施	継続実施	平成23年度は、幼保小中連携協議会を年1回、実務担当者会議を年2回実施し、幼保小中連携カリキュラムの見直し及びカリキュラムに沿って中学校区ごとに交流を深めた。今後も同様の取組について継続して実施していく。	学校教育課
57	児童センターサークル活動	幼児とその保護者を対象とした登録制サークル活動で、心と体の健康増進、豊かな情操、知的で社会的な適応能力を身につける事業。	サークル数 延参加者数	5サークル 3,205人	5サークル 2,728人	4サークル 2,403人	4サークル 2,500人	今後も継続して実施していく。	児童センター

(3) 家庭教育の充実 (計画 P55~56)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
58	乳幼児学級	市内幼稚園・保育園と連携を図りながら、幼稚園・保育園行事等の機会を活用して、乳幼児教育の講演会等を実施する。	参加者数	820人	1,082人	749人	—	平成24年度から、幼稚園に関しては学校教育課で実施し、保育園に関しては、園の自主的な取り組みによる乳幼児教育の定着が図られており、事業を終了した。	生涯学習課 学校教育課
59	家庭教育推進事業	市内小・中学校及びPTAと連携を図りながら、保護者等に対し子育て・家庭教育に関する講演会等を実施する。	参加者数	558人	484人	978人	1,000人	今後も継続して各学校やPTAに講演会開催の呼びかけを行う。	生涯学習課
60	地域子育て支援センター、つどいの広場での子育て講座	毎月定期的に子育てに関する講座の開催や、家庭教育や家庭生活に関する情報提供を行う事業。	開催回数	12回	12回	12回	12回	講座等ののべ参加者については年々増加しており、今後も継続して実施することで、地域の子育て力の向上につなげる。	子育て支援課
61	広報紙による啓発	広報うとに毎月「家庭教育シリーズ」と題して啓発記事を掲載。	記事掲載回数	7回	12回	11回	12回	今後も継続して家庭教育シリーズの掲載を行っていく。	生涯学習課

(4) スポーツによる健全な心身の育成 (計画 P56~57)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
62	青少年対象スポーツイベントの充実	中長距離記録会・地区対抗駅伝・ジュニア駅伝の開催。	イベント開催数 参加者数	3回 546人	3回 305人	3回 597人	3回 700人	イベントの周知を積極的に行い、参加者の増加を図る。 【参加者内訳】 ・中長距離記録会 H21:205人 H22:277人 H23:321人 ・地区対抗駅伝 H21:28人 H22:28人 H23:28人 ・ジュニア駅伝 H21:313人 H22:中止 H23:248人	スポーツ振興課
63	メタボ教室	いきいきスポーツ教室の開催。(H20年度～)	青少年の参加者数	2人	1人	2人	10人	周知を積極的に行い、参加者の増加を図る。	スポーツ振興課
64	うとスポーツクラブの充実と参加促進	中学生以下の児童、生徒を対象とした教室等を開催。	開催数 青少年の参加者数	14回 13,188人	14回 15,307人	14回 14,354人	20回 16,000人	参加者の増加を図るとともに、サークル活動等新たな種目の開設を検討する。	スポーツ振興課

(5) 生活習慣病対策の充実 (計画 P57~58)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
65	食育の推進 (生活習慣病対策の視点から)	<ul style="list-style-type: none"> 各種乳幼児健診(3か月, 6か月, 1歳6か月, 3歳), 教室(2か月児教室, 幼児歯科教室, ぴかぴか教室)において集団及び個別栄養指導を行う。また年齢に合わせた, 資料配布や掲示を行う。 食生活改善推進員協会による, 幼・小・中保護者へや小学生への講習会の開催。調理実習や食に関する講話の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団・個別栄養指導実施人数 ①3か月児健診 ②6か月児健診 ③1歳6か月児健診 ④3歳児健診 ⑤2か月児教室 ⑥幼児歯科教室 ⑦ぴかぴか教室 ・食改による講習会実施回数・参加者数 ⑧保護者 ⑨小学生 	<ul style="list-style-type: none"> (集団・個別) ①323人・5人 ②294人・99人 ③なし・235人 ④なし・198人 ⑤273人・なし ⑥252人・46人 ⑦273人・80人 (回数・参加者数) ⑧6回・102人 ⑨10回・321人 	<ul style="list-style-type: none"> (集団・個別) ①348人・3人 ②341人・123人 ③なし・210人 ④なし・197人 ⑤329人・なし ⑥249人・34人 ⑦241人・60人 (回数・参加者数) ⑧6回・68人 ⑨15回・447人 	<ul style="list-style-type: none"> (集団・個別) ①322人・17人 ②349人・188人 ③なし・185人 ④なし・182人 ⑤262人・なし ⑥274人・48人 ⑦259人・56人 (回数・参加者数) ⑧4回・62人 ⑨14回・398人 	<ul style="list-style-type: none"> ①~⑦対象者全員への集団栄養指導, 必要に応じた個別指導の実施。 ⑧6回 ⑨15回 	今後も継続して実施していくとともに, 随時指導内容等の見直しを行い, 事業の充実を図る。	健康づくり課
66		生涯の健康づくりの基礎となる小児期からの健康教育を食育の視点から見直す。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施していく。	学校教育課
67	むし歯予防対策	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診(1歳6か月・3歳), 教室(ぴかぴか教室)において, 歯科健診を実施。また, 各種健診や教室にて虫歯予防のための健康教育を実施する。 市内全保育園・幼稚園でフッ化洗口を実施し, むし歯保有率を低下させるとともに, むし歯予防への意識を高める。 全保育園でむし歯予防教室を実施し, 子ども自身のむし歯予防意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診 ①歯科健診受診率 ②むし歯の保有率 ③1人平均むし歯本数 ・3歳児健診 ①歯科健診受診率 ②むし歯の保有率 ③1人平均むし歯本数 	<ul style="list-style-type: none"> ①97.3(%) ②5.85(%) ③0.19(本) ①96.9(%) ②40.00(%) ③2.07(本) 	<ul style="list-style-type: none"> ①95.6(%) ②7.69(%) ③0.22(本) ①95.3(%) ②35.88(%) ③1.74(本) 	<ul style="list-style-type: none"> ①98.6(%) ②2.93(%) ③0.07(本) ①99.0(%) ②35.86(%) ③1.48(本) 	<ul style="list-style-type: none"> ①100(%) ②0(%) ③0本 ①100(%) ②35(%) ③1(本) 	今後も継続して実施していくことで, 子ども自身のむし歯予防意識を高める。	健康づくり課
68		小中学校において, むし歯等の早期治療の指導, 歯に関する正しい知識の普及を行う事業。	教室実施回数	0回	10回	10回	15回	今後も継続して実施していく。	学校教育課

(6) 豊かな心の育成 (計画 P59~62)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
69	環境教育・体験 活動等	市内学校(小・中学校10校)において、環境学習を行う事業。	実施箇所数 参加者数	4箇所 285人	3箇所 178人	2箇所 300人	5箇所 350人	H23年度から、環境問題に対する意識をさらに高める目的で、小学5年生を対象にエコポスターの募集を行った。 今後も継続して実施していく。	環境交通防災課
70		学校における環境教育・環境学習を推進し、環境保全活動や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力の育成を図る。	—	実施	実施	実施	継続実施	各学校において学校版環境ISOに取り組み、児童生徒の主体的な関わりを深めることができた。 今後も継続して実施していく。	学校教育課
71		各公民館の学習講座の中でマイ箸づくり・ホウ酸団子づくり作り・EM菌講習会など環境教育を行い正しい理解と認識を深める。	開催回数	20回	22回	21回	23回	今後も継続して実施していく。	生涯学習課
72	食育の推進 (食への関わり 方の視点から)	食育を総合的・効果的に推進するため、関係者間の情報共有や連携推進を目的とした食育推進会議を開催する。また、食育推進会議を中心に、宇土市食育推進計画の推進・評価・見直しを行う。	宇土市食育 推進会議の 開催回数	2回	2回	2回	—	計画の新たな策定年度には開催回数が増えるので、目標値は未設定。 今後も継続して会議による評価を踏まえ、関係機関と連携して推進していく。	健康づくり課
73		子どもの健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図るため、課程や地域と連携して子どもの発達段階に応じた食育の推進を行う。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も関係団体と連携し、継続して実施していく。	学校教育課
74		児童センターのサークル活動や年間行事の中で、いも植え・いも掘り体験、料理教室、パンづくり教室などを通して食べ物に対する感謝の心を育てるとともに、食べることの楽しさや大切さを伝える。	参加人数	156人	163人	170人	170人	栽培・収穫・調理を体験することによる食への関心を高める目的からも、継続して実施していく。	児童センター

(6) 豊かな心の育成 (計画 P59~62)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
75	人材活用事業	様々な知識や技術を持つ地域の方々を募り、教育現場や団体、地域に派遣し、伝統・文化の継承や世代間の交流等を行うことにより、地域の教育力の向上と生涯学習活動の推進を図ることを目的とする。	申請件数	37件	30件	30件	45件	今後も継続して実施していく。	生涯学習課

(7) 次代の親の育成 (計画 P63~64)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
76	思春期保健対策	思春期保健に関する講演等を実施し、思春期の心と体の正しい知識の普及に努める。	思春期学級事前講義参加者数	261人	277人	241人	280人	今後も継続して実施し、思春期の健康相談・電話相談等の相談体制の充実を目指す。	健康づくり課
77		思春期に関する情報を関係機関が共有し、各発達段階に応じた教育を行う。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も関係機関と連携し、継続して実施していく。	学校教育課

(8) 児童の健全育成 (計画 P65~67)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
78	心の相談事業	問題を抱えている生徒、保護者の相談を受け、問題解決の手助けを行う。	相談件数	—	577件	398件	継続実施	今後も関係機関と連携し、継続して実施していく。	学校教育課
79	適応指導教室 (ほっとスペース)	心理的、情緒的な原因で登校できない児童・生徒の活動の場を設け、自立に向けた支援を行う。	対応件数	—	4件	2件	継続実施	今後も関係機関と連携し、継続して実施していく。	学校教育課
80	民生委員・児童委員活動	民生委員、主任児童委員と各小中学校との懇談会を実施し、児童・生徒に関する情報を交換。	情報交換を行う小・中学校数	—	10校	10校	10校 (継続実施)	今後も継続して実施し、見守り活動を行う。	福祉課
81	健全育成に関する地域の連携 (学校支援地域本部事業)	学校教育において教職員の業務量が増大しているため、地域社会での学校支援を行い、また、地域と子どもとの人間関係を密にすることにより、地域教育力の向上を目的とする。	学校支援ボランティア登録者数(人)	85人	85人	103人	110人	今後も関係機関と連携し、継続して実施していく。	生涯学習課

(8) 児童の健全育成 (計画 P65~67)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
82	子ども地域活動推進事業	地域住民の協力により、異年齢の子どもたちの遊びや体験活動を通して自主性・創造性を育む活動。	実施参加児童数	965人	991人	813人	990人	今後も関係機関と連携し、継続して実施していく。	生涯学習課
83	放課後子ども教室	放課後等に、小学校等の施設を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	地域の協力者数	36人	38人	32人	50人	継続して実施していくとともに、地域の保護者にも協力を呼び掛けていく。	生涯学習課

施策1 仕事と家庭の調和

(1) 仕事と家庭の両立推進 (計画 P69)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
84	講演会及び講座開催による啓発	講演会、講座の開催を通して、固定的な性別役割分担意識の解消に向け、市民・事業者を対象とした意識啓発を行う。	「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合	47.6%	—	—	60%	指標は推進計画から抜粋しており、指標の把握はH26年度に行う。 講座の開催については、必要性かつ効果的な開催に向け、類似事業との連携を検討する。	まちづくり推進課
85	広報活動による周知啓発	年に数回、国・県・市の男女共同参画の取組みや子育て支援サービスの情報提供を行う。	パートナーシップ(情報誌)の発刊	1回	1回	1回	1回	パートナーシップ(情報誌)の発刊に加え、広報紙での特集記事の掲載などに取り組む。	まちづくり推進課
86	市内事業所や各種団体への働きかけ	仕事と家庭の両立を推進するため、市内事業者や各種団体へ働きかけを行う。	事業者・各種団体への講師派遣	0回	0回	1回	1回	今後も継続して、要請のあった団体へ講師派遣を実施していくとともに、効果的な働きかけの方法を検討する。	まちづくり推進課

(3) 男女共同参画の推進 (計画 P70～71)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
87	男女共同参画推進計画に基づく総合的な取組み	条例の周知啓発をはじめ、昨年策定した第2次宇土市男女共同参画推進計画に基づき、さまざまな取組みを行う。	男女共同参画社会認知度	66.9%	—	—	80%	指標は推進計画から抜粋しており、指標の把握はH26年度に行う。	まちづくり推進課

施策2 子育てにやさしい生活環境づくり

(1) 安全な道路交通環境・公共施設等の整備 (計画 P73～74)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
88	街路灯の整備	行政区が設置する防犯灯の設置費用に対し、補助金を給付する。	防犯灯設置数	—	42	210	—	補助金であり、また蛍光灯からLEDへの取り換え件数も含まれているため、設置数の目標値は未設定。 今後も継続して団体等への事業周知を行っていく。	まちづくり推進課
89	教育施設の耐震化、バリアフリー化	教育施設の利用者の安全を確保するため、改築あるいは補強を行い耐震性能を確保する事業。また、障害者等の施設利便性を向上させる事業。	実施箇所数	2箇所	2箇所	1箇所	—	平成24年度から、幼稚園、小・中学校における非構造部材の耐震調査を実施し、耐震性の無い非構造部材の耐震化の計画を策定することで、安全な学校作りを目指す。	学校教育課

(1) 安全な道路交通環境・公共施設等の整備 (計画 P73~74)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
90	現状バス路線の維持	現在運行しているバス路線に対し、赤字補てんを行うことにより、バス路線網を維持する。	バス路線の赤字による撤退数	0路線	0路線	0路線	0路線	平成24年度から、コミュニティバスや乗合タクシーの導入を検討しており、併せて宇土市の公共交通全体の在り方を検討していく。	企画課
91	新しい公共交通の運行	地域住民が利用しやすい公共交通体系確立のため、公共交通未整備地区へのコミュニティバスや乗合タクシーを導入する。	—	—	—	協議(運行方針決定)	実施(市内7地区全地域で、乗合タクシー事業を実施)	公共交通体系の検討を行う協議会を設置し、新公共交通の運行方針を決定した。 平成24年度中に、市街地を循環するコミュニティバスと、交通空白地から最寄りの駅若しくは、バス停に接続する乗合タクシーの試行運行を開始する。 なお、乗合タクシーについては平成24年度中に3地域での運行を開始し、平成26年度までに市内7地域全域の運行を開始する。	企画課
92	ガードレール等安全施設の整備	安全で快適な交通環境を形成し、交通事故を予防するため、市内の危険で緊急性を要する箇所ガードレール等安全施設の整備、設置を行う。	ガードレール等の設置距離	—	520m	687m	1,000m	今後も継続して整備、設置を行い、市内通学路等の安全確保に努める。	環境交通防災課
93	放置自転車対策	年に2回市内駐輪場に警察の協力のもとに貼り札をし、問い合わせが無かった自転車を撤去する事業を実施。	自転車撤去台数	—	100台	48台	90台	今後も継続して実施していく。	環境交通防災課

(2) 良好な居住環境の整備 (計画 P75)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
94	公営住宅等長寿命化計画の策定検討	公営住宅等の修繕・改善・建替等について、今後の活用手法を定め、長期的な維持管理を行うことを目的として策定する。	—	—	検討	検討	計画に基づいた取組	平成25年度の策定を予定しており、現在調査・検討を行っている。 活用手法等については、計画に基づいた取組を行っていく。	都市整備課

(3) 潤いのある都市空間づくり (計画 P76)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
95	花いっぱい運動	各地区公共的空地等への、花の植栽・水かけ等の維持管理を地元ボランティアで協力していただける団体に対して、可能な範囲で花種・苗を提供する。	花苗配布数 (地区配布分)	45,524	76,048	79,016	72,000	本運動を通じ、地域コミュニティの高揚に繋がりたいと考える。 また今後は、行政主導ではなく日頃から自発的に「花いっぱい運動」を行い、郷土愛を育む住民意識を醸成していくことを目的に、事業を継続して行う。	まちづくり推進課
96	利用しやすい公園づくり	各公園の維持管理の徹底を図る。	—	実施	実施	実施	継続実施	各公園の維持管理を徹底するとともに、憩いの場として幅広く利用を促進する。	まちづくり推進課
97	チビっ子広場の安全確保	定期的に遊具の点検・修理を行い、身近で安全な遊び場として、環境整備の充実を図る。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も維持管理を徹底する。	子育て支援課

施策3 子どもの安全を守る環境づくり

(1) 公園における防犯対策等 (計画 P77)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
98	公園パトロールの強化と地域との連携	定期的な巡回を行う。	—	実施	実施	実施	継続実施	関係機関と協力し、悪質な事件、事故等が起きないように取り組むと同時に、地域との連携を推進する。(職員による巡回)	まちづくり推進課
99	公園の危険個所の早期発見と対応	各公園の維持管理の徹底を図る。	—	実施	実施	実施	継続実施	公園清掃等管理委託先へ、公園内の危険個所等の報告。遊具施設の破損等ないか月1回状況確認など徹底する。(職員による巡回)	まちづくり推進課

(2) 子どもを犯罪や有害環境から守るための取組み (計画 P78)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
100	青少年センターほか関係機関の連携による補導パトロール活動	青少年の健全育成及び非行防止を図るため、補導活動を行う。	補導(声かけ)回数	126回	88回	163回	80回	月2回の定例補導のほか、夏休み期間の特別補導、自主補導の強化に取り組んでいる。 今後は声かけ回数の減少を目標に、関係機関と連携し取り組んでいく。	生涯学習課
101	生活安全パトロール隊活動	「地域の目」で青少年の非行や犯罪などを防ぐため、生活安全パトロール隊による防犯パトロール活動を実施。	パトロール回数 (全地区合計)	—	—	464回	470回	継続して実施していくこととしているが、パトロールの回数は、各支部(全8支部)ごとに差があるので、月1回の支部は最低月2回を目標に取り組んでもらうよう指導を行っていく。	環境交通防災課

施策4 市民の意識づくり

(1) 交通安全指導 (計画 P79)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
102	幼稚園・保育園・小学校における交通安全教室	交通安全思想の啓発普及を目的に、交通安全教育を幼少時から実施することにより、交通事故撲滅を目指す。	実施箇所数	—	18箇所	19箇所	21箇所	今後も継続して実施し、交通安全思想と交通ルールの普及に努める。	環境交通防災課
103	中学校における交通安全教室・自転車教室	正しい交通ルールをマスターすることで交通事故の危険性を周知させる。	実施箇所数	—	3箇所	3箇所	4箇所	今後も継続して実施し、交通安全思想と交通ルールの普及に努める。	環境交通防災課
104	交通安全に関する街頭指導	1, 10, 20日の交通安全の日に、市内各所で宇土市交通指導員らによる街頭指導を実施。	—	実施	実施	実施	継続実施	今後も継続して実施するとともに、交通安全関連団体と連携した街頭指導活動を行っていく。	環境交通防災課

(2) チャイルドシートの利用啓発 (計画 P80)

番号	個別事業	事業概要	指標	基準値 (H21年度)	H22年度 実績	H23年度 実績	目標事業量 (H26年度)	特記事項 今後の取組みなど	担当課
105	チャイルドシートの貸出し事業	購入されるまでの一定の期間、チャイルドシートの貸出しを行い、交通安全の普及に努める。	—	実施	実施	実施	継続実施	幅広く多くの方に利用してもらうよう、貸出し期間の見直しや周知方法を関係団体等と協議し再構築する。	環境交通防災課
106	幼稚園・保育園での正しい着用の啓発	宇城地区交通安全協会指導員と協力し、チャイルドシートの着用の徹底を図る。	—	実施	実施	実施	継続実施	交通安全教室を利用して、宇城地区交通安全協会指導員の協力のもと、着用徹底の啓発活動を継続して行っていく。	環境交通防災課